

【作品名】死霊
【ジャンル】哲学書の論理実験小説
【先鋒】時空
【次鋒】《それ》
【中堅】《宇宙者》
【副将】《無出現の思索者》
【大将】青服

【長所】妄想スレ上位テンプレ的要素を多く含む。半分哲学書だから仕方ないね
【短所】難解な内容に独特の言葉遣い

簡易テンプレ

【先鋒】6次多元世界+3 並の大きさの時空間
【次鋒】6次多元世界+3 並の大きさ+時間無視+世界・自己改変（任意全能）
【中堅】6次多元世界+3 内包+時間無視+世界改変（任意全能）
【副将】6次多元世界+3 内包+時間無視+任意全能
【大将】6次多元世界+3 並の大きさ+時間無視+同規模の全能防御

【世界観】

この宇宙は無限にある宇宙の一つでしかない。その無限宇宙もそれぞれ可能性によって分岐し、分岐先それぞれが多様な目で宇宙をみるのでまた無限に分岐する（作中ではこの過程を「無限の無限倍くらいにはなる」と表現） 3次多元世界
これらはすべて既に出現している宇宙であり、未出現宇宙をも含んだ「絶対王国」が存在する。
出現宇宙と絶対王国の規模の差は、無限を考え方の基盤に置き、宇宙が無限の無限倍に増殖する過程を「精一杯やってもその程度」と評価する夢魔が、同じ流れで「気も遠くなるほど大きい幅」と言うほどの差である。
つまり絶対王国は出現宇宙の無限×無限×無限倍=6次多元世界程度はあるか。
そこに「超空間」や「亡霊宇宙」、「虚の国」などが加わって、最終的な世界観は6次多元世界+3

- ・特にややこしい部分のストーリー背景

《無出現の思索者》が紆余曲折経て全宇宙を作り上げる

そのなかの全存在は、「窮極の存在の秘密」「存在の罨」から本来的には「無限に自由」に作られている。
（「窮極の～」 「存在の罨」とは、存在は時間に従う・存在は全てから孤立する・存在はその最高のもののみを言うなどから成る法則のこと）

そのため、「窮極の存在の革命」を行うことにより、《それ》は自らをその存在の法則から解放して自由になった。

但し、《無出現の思索者》の自由度には及ばない（《無出現の思索者》はより高い無限属性を持っている）

しかし、亡者などの多くの存在はその法則の時間に関する法則（もっと言えば空間も）に引っ掛かり脱却できず、「自分存在」という小さな殻に閉じこもった

ならば時空間のない宇宙を作ってしまうということで、《無出現の思索者》は「自在宇宙」を作ろうと画策する

このような情報を知り、主人公は《無出現の思索者》と同等の自由度を持つ《虚体》という存在として存在の革命を目指す

【先鋒】

【名前】時空
【属性】時空
【大きさ】【攻撃力】【防御力】【素早さ】6次多元世界+3 に広がる時空並
【長所】造物主に人格化された。恥じたり俯いたりする
【短所】それだけ

【次鋒】

【名前】《それ》
【属性】《意識=存在》
【大きさ】全宇宙・全時間遍在。よって6次多元世界+3 並
【攻撃力】大きさ相応。他人の体を乗っ取ったりできる。
【防御力】大きさ相応
【素早さ】
大きさ相応。

無限に広がる時間すべてに遍在しており、

「存在は時間の流れにしたがって行動しなければならない」という法則を含む「窮極の存在の秘密」を克服しているため、時間無視

【特殊能力】

自分と自分自身との関係すら本質的には無関係であるという「窮極の存在の秘密」を克服したため、《意識=存在》という状態になっている。

《意識=存在》は意識が存在を作り出すため、自分の考えたとおりの存在になることができる。

その気になれば全宇宙を自分の思ったように作りかえることもできる。自己改変可能な世界改変能力。

【長所】主人公たちが追い求めている窮極の存在の革命を成し遂げた

【短所】基本的に偉そう

【中堅】

【名前】《宇宙者》
【属性】黙狂

【大きさ】全宇宙と全時間を内包する存在。6次多元世界+3 内包

【攻撃力】【防御力】大きさ相応

【素早さ】

大きさ相応。

全時間を内包する存在であり、

「存在の畏」から解放されているため時間無視

【特殊能力】

何か言葉を口に出せばその通りに世界が作りかえられてしまう存在。

またあまりにも神々しく澄みきった存在なので、姿を見た人間を自分の信者にしてしまう

【長所】常に黙っているのが狂人だと思われた

【短所】出番が少ない

【副将】

【名前】《無出現の思索者》

【属性】単一者

【大きさ】

無限の空間や永劫の時間はこいつの一部でしかなく、

全宇宙全時間遍在の奴を「かぼそい(一)」と表現するくらいの大きさ。6次多元世界+3 内包

【攻撃力】特殊能力欄参照

【防御力】不可触なので物理無効。

【素早さ】「存在の畏」から【次鋒】以上に完全に自由な存在で、そもそも時間という概念を作ったのもこいつなので時間無視。

【特殊能力】

全てのはじまりから全ての終わりまでにあり得べき存在や仮象、また嘗て起こったことがなく決して起こり得ない現象すべてを無限に起こすことができる。

【次鋒】と同等かそれ以上の世界改変を含む任意全能。

様々な世界を創造しては破壊しを繰り返した結果、6次多元世界+3 を創造した。その気になればこれを破壊したり作りかえたりできる。

また不可思惟なので認識不可。

【長所】全世界全存在の創造主

【短所】最上級に偉そう

【大将】

【名前】青服

【属性】《虚体》

【大きさ】無限大の大暗黒そのもの。6次多元世界+3 並か

【攻撃力】実体がないのでなし

【防御力】実体はない、存在してすらいない。

【素早さ】

全ての以前の以前の時点で常に停まっている存在なので常時0秒行動。

《虚体》なので「存在の畏」も克服しているため時間無視でもある。

【特殊能力】

全ての以前の以前で何もかもを拒否し停まり続けている存在。

そのため、無限の跳躍によって無限大の世界さえを包み込み変容させる能力も効かない。

【次鋒】～【副将】の話が出た後でも「無限大の大暗黒こそは何ものによっても、そのはしのはしのはしさえ変えられ得ない」と語られているため、同規模の全能防御か

【長所】妄想スレでいう「あらゆる系先手」的存在

【短所】この大きさで全能防御とかあっても別に・・・っていう

参戦 vol.94 442-443

vol.94

449 : 名無しさん@お腹いっぱい、 : 2010/06/04(金) 20:11:01 ID:KN1EKUnv

>>442

出現宇宙と絶対王国の規模の差は、無限を考え方の基盤に置き、宇宙が無限の無限倍に増殖する過程を「精一杯やってもその程度」と評価する夢魔が、同じ流れで「気も遠くなるほど大きい幅」と言うほどの差である。

つまり絶対王国は出現宇宙の無限×無限×無限倍=6次多元世界程度はあるか。

「宇宙が無限の無限倍に増殖する過程」って、その上に書かれている「出現宇宙=3次多元宇宙」の事だよな。

「3次多元宇宙=精一杯やってもその程度」に対する「気も遠くなるほど大きい幅」がなぜ6次多元宇宙になるんだ？

「気も遠くなるほど大きい幅=無限」だとしても、4次多元宇宙にしかならないと思う。

450 : 名無しさん@お腹いっぱい、 : 2010/06/04(金) 20:31:59 ID:KN1EKUnv

>>442に追加で。

【次鋒】

【名前】《それ》

平行世界に偏在する存在でも、大きさが世界そのものとイコールになるわけじゃないと思う。
《それ》自身が宇宙を(空間的な意味で)埋め尽くしているわけじゃ無いんでしょ？
(固体×無限のn乗は存在するんだから、宇宙×無限の(n-1)乗よりは比べ物にならないほど大きいとは思うが)

大きさが世界そのものとイコールになるのは、世界そのものか、世界を内包する存在だと思うのだがどうか。

452 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2010/06/04(金) 21:23:37 ID:aRBpIEJ8

>>449

宇宙一つと出現宇宙の幅は所詮無限の無限倍程度、みたいなこと言った直後、しかし出現宇宙と絶対王国の幅は~という流れなので

>>450

そいつは、「人間は時空の中ではちっぽけなもの、なら全時空に広がればいいじゃない！」って感じの遍在だから大きさも世界相応にした

実際にどういう扱いになるかはよくわからん

453 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2010/06/04(金) 23:41:34 ID:Wy+1iNOD

あれ、昔読んでテンプレ作ろうと思ったけど、結局それって作中の人物の想像でしかないんじゃないじゃなかったっけ？
それでテンプレ作るのやめた記憶がある。

読んだのずいぶん前だし理解も出来てたか怪しいんだけど。

454 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2010/06/05(土) 00:25:22 ID:ShoR1BVK

夢魔とか青服とか宇宙者は実際に複数人が出会ってるし、
矢場徹吾の話もそれとリンクしてるから少なくとも参戦メンバーに関しては妄想ってことはない・・・と思う
集団幻覚的なものを見ていたと解釈できないわけじゃないが

455 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2010/06/05(土) 00:42:05 ID:1pfl1C11

例えば~という夢魔が存在したとしよう、みたいに始まってその中で未出の宇宙とかの話をしてたような気がした。
ただ本気でうる覚えなんであんまり気にしないでくれ。

暇なときにでも再読してみようかな、作者のインタビューと合わせて読んだらわりと面白かったし。

456 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2010/06/05(土) 01:03:31 ID:ShoR1BVK

俺もその辺りはうる覚えだが、三輪高志の話の後に三輪与志が実際に体験してるし、
あれが完全な仮定だとすると《無出現の思索者》の言う(一)とは何だったんだって感じになる気が

全体的に思考実験的な小説だから想像と現実の境があいまいになるのは仕方ないね
黒服の言う「夢の世界」を考えるとあの世界では想像が現実にはみ出しているという考え方もできるし

464 : 名無しさん@お腹いっぱい。 : 2010/06/05(土) 14:12:47 ID:HPyN2yS6

一応考察は必要かと

というわけで死霊考察

全員6次多元世界+3 規模で先鋒除き時間無視なので全能上は確実

永遠神剣シリーズ

【先鋒】分け

【次鋒】【中堅】【副将】6次多元世界+3 全能勝ち

【大将】分け

死霊>永遠神剣シリーズ

これでも旧ビックリマンテンプレ(九次多元)より下なのか・・・